

BCP対策とは

未来の危機に備える方法とは



applippli
株式会社アプリップリ

はじめに

自然災害、予期せぬシステム障害、そして世界的なパンデミック。これらはすべて、私たちの事業に深刻な影響を及ぼす可能性があります。

しかし、そのような危機的状況でも、事業を継続し、顧客へのサービスを確保する必要があります。このような危機的状況が発生しても事業を継続するための方法を考えることを、事業継続計画（BCP）と呼びます。

このホワイトペーパーでは、BCPがどのように組織の体制を強化し、どのようにして未知の危機に対処するための準備を整えるのかを短く簡潔に解説します。未来は予測できませんが、準備はできます。BCPがその鍵となります。

目次

.....

1. BCP対策とは
2. BCP対策が注目され始めた理由
3. 種類
4. メリット
5. 効果を引き上げる方法
6. 導入方法(リスク評価とビジネス影響分析とは)
7. 導入方法(リスク評価とビジネス影響分析を行うには)
8. まとめ



1

BCP対策とは

BCP対策とは、地震や水害などの自然災害や機材の故障などの緊急事態が発生した際に、事業継続するために事前に対策を行うことを指します。また、日本語では「**事業継続計画**」といいます。BCP対策を行うメリットとしては、災害が発生した際にも、企業の**業務を停止させずに業務を継続**させることで**企業としての価値を向上**させることができる点や、**取引様からの信頼が高くなる**点、そして事業を停止させないことで得られる市場での**競争力向上**などが挙げられます。

災害対策



業務継続



競争力向上



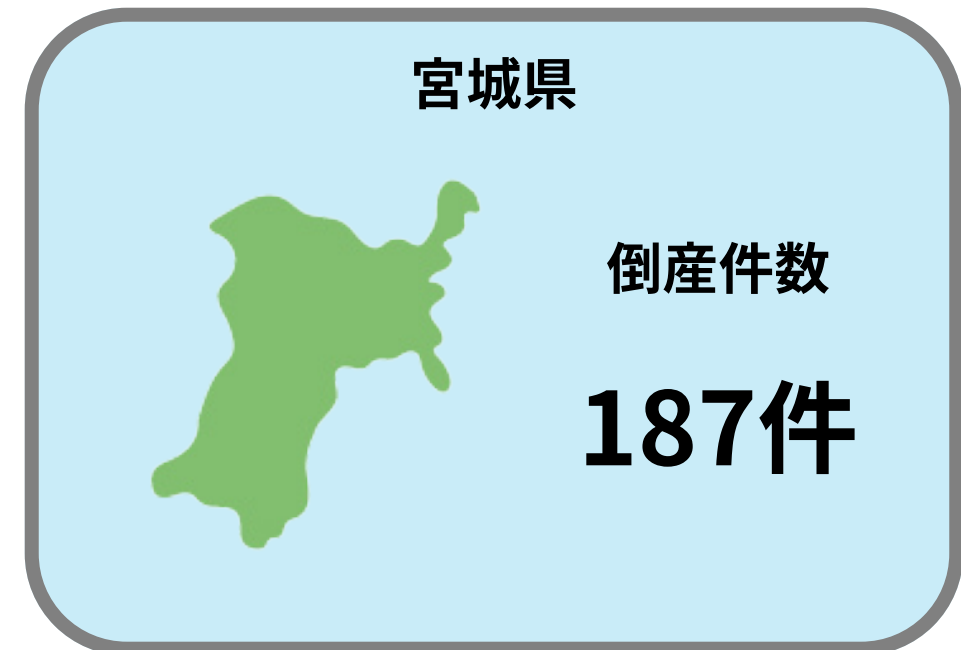
2

BCP対策が注目され始めた理由

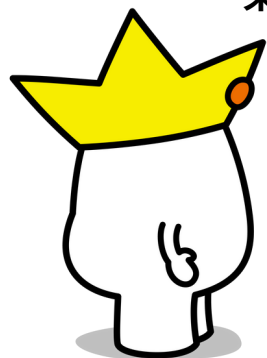
日本でBCP対策が注目され始めた理由は、2011年3月に発生した東日本大震災の影響で多くの企業が倒産したことが理由として挙げられます。

東日本大震災の影響により**倒産した企業数は累計1,946件**にのぼりました。この1,946件のうち、最も多くの割合を占めたのが「**東京都**」の企業で、572件の企業が東日本大震災の影響により倒産してしまっただそうです。*

この時、最も地震の被害にあった東北の企業よりも、東京の企業の方が倒産数が多くなったことを受け、災害対策を意識する企業が増え、BCP対策が注目され始めることとなりました。



*東京商工リサーチ_“震災から9年”「東日本大震災」関連倒産状況（2月29日現在）. https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1189745_1527.html (参照2024-1-11)



地震の被害が比較的少なかった東京ですが
企業倒産数は東京が最も多かったなんて、、、

3

BCP対策の種類

災害対策



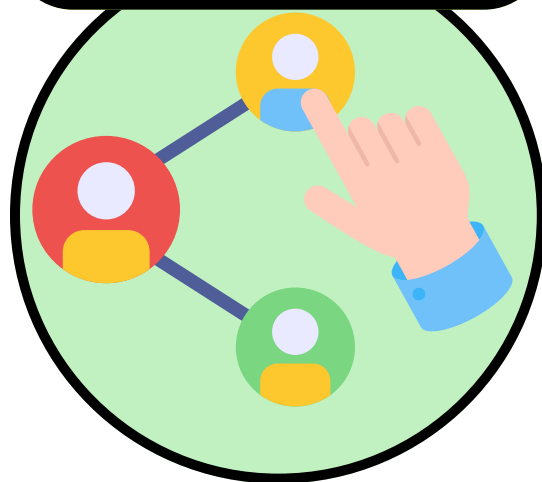
災害対策：自然災害や人災などの緊急事態が発生した場合に、事業をどのように継続するかを計画します。具体的には、代替施設の確保、データのクラウド化、復旧手順の明確化などが含まれます。

情報セキュリティ対策



情報セキュリティ対策：サイバー攻撃や情報漏洩などの情報セキュリティ事故が発生した場合の対策を計画します。具体的には、セキュリティシステムの強化、情報漏洩時の対応手順、復旧手順の明確化などが含まれます。

人的リソース対策



人的リソース対策：重要な役職の人物が急遽働けなくなった場合の対策を計画します。具体的には、役職の代行者の指定、業務の引き継ぎ手順、緊急連絡網の確立などが含まれます。

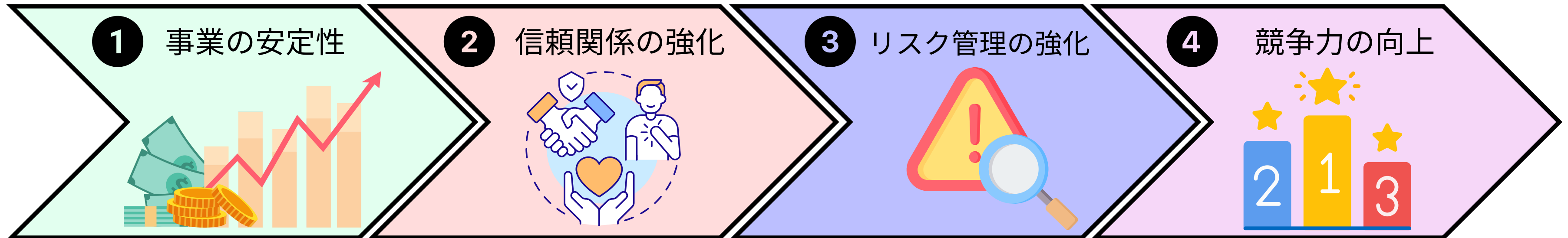


ひと言にBCP対策といっても様々なものがあります！

4

BCP対策を行うメリット

- 1.事業の安定性**：災害や事故などの予期せぬ事態が発生した場合でも、事業を継続することが可能になります。これにより、企業の存続が確保され、従業員の雇用も安定します。
- 2.信頼関係の強化**：顧客や取引先に対して、どのような状況下でもサービスや商品の提供を続けることができるという信頼関係を築くことができます。
- 3.リスク管理の強化**：BCP対策を行うことで、企業全体のリスク管理が強化され、経営の安定化に寄与します。
- 4.競争力の向上**：BCP対策を行っている企業は、その対策が評価され、競争力が向上する可能性があります。



5

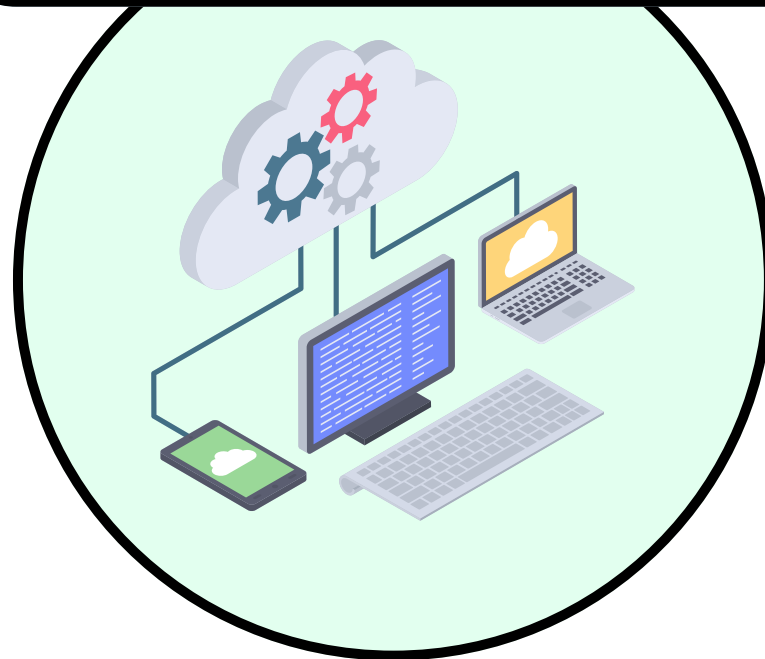
BCP対策の効果を上げる方法

4つのメリットを享受するためには、**自社の事業内容やリスクを正確に把握**し、それに**基づいたBCPを策定**することが重要です。また、**策定したBCPは定期的に見直し**、必要に応じて更新することが求められます。これにより、常に最新の状況に対応したBCPを維持することができます。また、BCPは全従業員に周知することで、万が一の事態に備え、迅速な対応が可能となります。これらの取り組みにより、BCP対策の効果を最大限に引き出すことができます。

リスクの把握



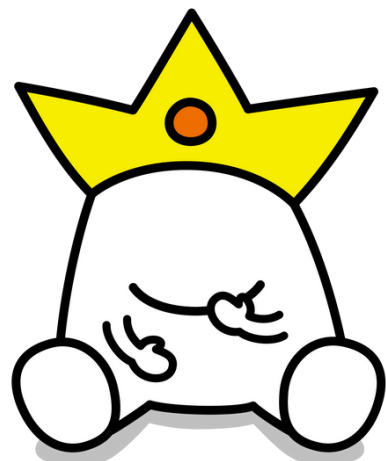
リスクに対してのBCP対策



BCPの見直し

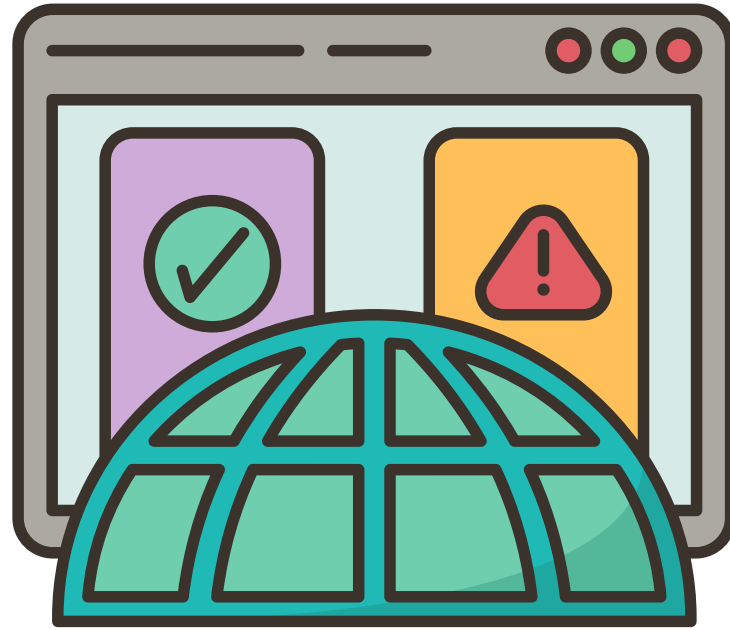


この3つを従業員みんな周知することでBCP対策の効果を最大限引き出せるよ！



BCP対策を行うにあたり、**リスク評価**と**ビジネス影響分析**というものを行うと導入しやすいです。

リスク評価



リスク評価とは、企業が直面する可能性のあるリスクを特定し、そのリスクがビジネスに及ぼす影響を評価するプロセスのことを指します。

リスク評価は、**リスクの特定（リスクの洗い出し）**、**リスクの分析（影響度×顕在化率）**、**リスクの評価**、**リスクの軽減**の4つのステップから成り立っています。これにより、企業はリスクを管理し、必要な対策を講じることができます。

ビジネス影響分析



ビジネス影響分析(BIA)は、組織が直面する潜在的な脅威やリスクがビジネス運営にどのような影響を及ぼすかを評価するプロセスです。

BIAの主な目的は、**重要なビジネス機能とそれらが依存するリソースを特定**し、それらが中断した場合の潜在的な損失を評価することです。これには、**財務的損失**、**評判への損害**、**コンプライアンス**、および**顧客満足度の低下**などが含まれます。

7

BCP対策の導入方法(リスク評価とビジネス影響分析を行うには)

リスク評価とビジネス影響分析は以下のような表を作成して取り掛かるとやりやすいです。

リスク評価

(例)

	リスクの特定	リスクの分析	リスクの評価	リスクの軽減策
評価・項目	地震	100×65=6500	早急に対応	クラウドの導入
評価・項目	ウイルス感染	100×40=4000	早急に対応	ウイルス対策を行う
評価・項目	SNS炎上	70×20=1400	要対応	炎上対策
評価・項目	人材確保	100×90=9000	早急に対応	従業員育成

ビジネス影響分析

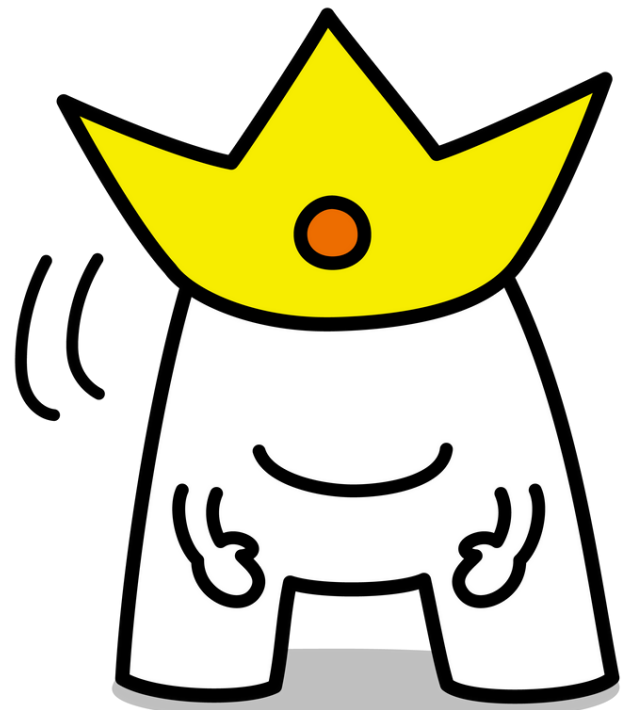
(例) IT企業

重要なビジネス機能の特定	プログラミング (コーディング)	営業
それらの機能が依存する リソースの特定	パソコン	電話、車
機能とリソースの中断がビジネス に及ぼす可能性のある影響の 評価	製品製作が できなくなる	連絡手段は 豊富にある
回復の優先順位付け	1.プログラミング	2.営業



表を利用してリスク評価とビジネス影響分析することで、
どこからBCP対策すべきか分かりやすくなるんだね！

日本は、他の国々に比べて地震や豪雨など自然災害が多い国です。そのため、BCP対策に積極的に取り組むことは、企業を存続させるために必要不可欠であります。未来の危機に備えるためにも、今すぐBCP対策に取り組んでみませんか？



弊社では、BCP対策に有効的な業務ソフトをクラウド化するサービス「[アプリップリクラウド](#)」を提供しております。

業務ソフトをクラウド化することで、BCP対策を行えるほか、**場所を選ばないシームレスな働き方の実現**や、**経費削減**、**人手不足解消**など様々なメリットがあります！

ご興味ありましたら株式会社アプリップリまでお気軽にお声かけ下さいませ！

アプリッククラウドの詳細は当社サービスサイトへ

..... <https://yayoi-k.jp/cloud-yayoi/>



会社HP : <https://applippli.co.jp/>

商品HP : <https://yayoi-k.jp/cloud-yayoi/>

Mail : sc-support@applippli.co.jp

TEL : 050-5530-6203

